



# 伊藤小児科・内科医院 病児保育園

## おひさまだより

令和3年8月2日発行

横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

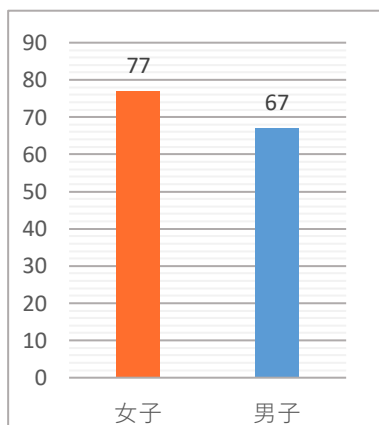


梅雨が明け、眩しい太陽の陽射しと共に夏がやってきました。横手市ではRSウイルスが流行し、おひさまの利用者もRSウイルスのお子さんが増えています。暑い夏は、体力を消耗しやすくなりますのでバランスの良い食事を心がける、しっかりと休息を取るなど体調管理に十分気をつけ、暑さに負けず元気に過ごせるといいですね。

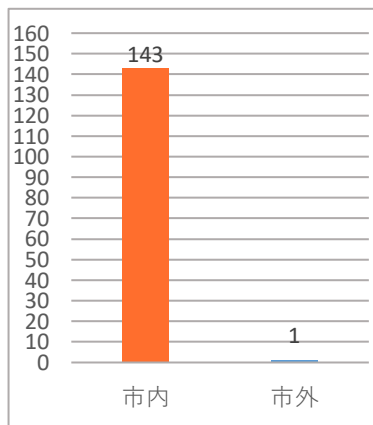
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

### 病児保育園おひさま 利用者状況 7月分

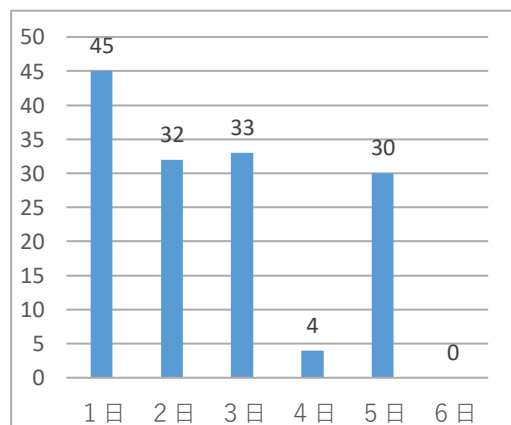
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

疾患名	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	11	11	3	10	2	2	0	39
RSウイルス	29	31	19	20	3	0	0	102
咽頭結膜熱	0	1	0	0	0	0	0	1
突発性発疹	1	1	0	0	0	0	0	2
合計	41	44	22	30	5	2	0	144

※ 併発している疾患もすべて含む。



# 伊藤小児科・内科医院 感染症情報 7月分

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0		0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	30	97	140	108	72	447
咽頭結膜熱	1	0	2	1	1	5
溶連菌感染症	2	10	3	2	4	21
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	1	1	0	0	0	2
ノロウイルス	0	0	1	0	0	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	34	108	146	111	77	476



## RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は冬場に乳幼児を中心に流行しますが、今年は6月頃から7月末の現在でもまだ流行が続いています。

症状は、発熱・鼻汁・咳・喘鳴（ぜえぜえと喉が鳴る事）です。

感染経路は咳、くしゃみなどによる飛沫感染、手や指（おしゃぶりなど）を介した接触感染などがあります。感染の予防として、おもちゃ・おしゃぶりなど乳幼児が使うものはいつもきれいに清潔にしましょう。兄弟からうつることもあるので、3歳以上でマスクができるお子さんはマスクをし手洗い、うがいで予防しましょう。

乳幼児のRSウイルス感染症は呼吸障害のリスクが高いため、咳や喘鳴で眠れない場合など早めに受診しましょう。



## 年長児は3種混合とおたふくかぜワクチンを接種しましょう

現在、横手市ではRSウイルスが過去に経験がないほど大流行し休園する保育園が続出しています。発熱や咳があるお子さんは早めに小児科を受診しましょう。

さて、年長児は入学前にMRワクチンを接種しますが、同時に3種混合とおたふくかぜのワクチン接種をおすすめします。近年、横手市では毎年のように百日咳の流行があり、全国から乳児百日咳の重要例や死亡例が報告されております。この流行の大きな要因として、小学生の百日咳に対する免疫の低下が指摘され、日本小児科学会は年長児における3種混合ワクチンの接種を推奨しております。おたふくかぜの感染防止には2回のワクチン接種が必要とされており、難聴や髄膜炎などの合併症予防のためにも、年長児での2回目の接種が推奨されていますが、両方とも任意接種のため接種率は低いままです。

以上より、小学校入学前には定期接種のMRワクチンに加え、3種混合ワクチンと2回目のおたふくかぜワクチンを接種しましょう。